

年末年始の外出・外泊についてのお知らせ

外出・外泊の目的は、退院後の生活が安心して過ごすことが出来るよう、自宅に一時帰宅して、生活に問題がないか確認するための訓練です。

外出・外泊は退院調整や試験外泊等、治療上必要と認められた場合に限りです。

- ・ 外出・外泊時は、事前に主治医の許可や介護指導が必要となりますので、お早めに病棟看護師にご相談ください。
- ・ 主治医の許可が出ましたら、外泊許可証の記入・提出が必要になります。
(※外出・外泊許可証は病棟にあります)
- ・ 年末年始の外泊希望受付は**12月20日まで**とさせていただきます。

外出・外泊時の注意点

入院中の患者様は新型コロナウイルス感染症をはじめとする冬季感染症(インフルエンザやノロウイルス感染症)における重症化リスクが高く、感染対策を徹底する必要があります。

そこで、当病院における、外泊時の感染対策の注意事項を以下にまとめました。注意事項をお守りいただくことで、外泊中も、帰院後の入院生活も安心して過ごしていただけると幸いです。ご協力をお願いいたします。

ご家族様へ

- ・ 外泊前にはご家族様(外泊先で接する周囲の方を含みます)は発熱や咳、喉の違和感、体のだるさ、下痢や腹痛など体調の不良がないことを確認してください。もし、症状がある場合は軽度であっても、外泊を見合わせください。
- ・ ご家族様やその周囲の方が新型コロナウイルス感染症をはじめとする冬季感染症に感染した場合、病棟看護師にご相談ください。

外泊中の自宅での感染予防対策



- ① 患者様と接する場合は不織布マスクの着用をお願いいたします。
不織布マスクは適切に着脱し、鼻マスクや顎マスクにならないように注意しましょう。
- ② 人の多いところへの外出はやめて、3つの密(密接・密集・密閉)を避けましょう。
- ③ 外からの帰宅後は、手指消毒や手洗いによる手指の衛生を心掛けましょう。
- ④ 浮遊するウイルスからの感染防止には換気がとても有効です。
部屋を暖めてから、なるべく対角の窓を開け風の通りを良くしましょう。
窓がひとつしかない部屋は窓とドアを開けましょう。換気時間の目安としては、1 時間に 2 回数分程度です。
- ⑤ 感染性胃腸炎の予防として生ものの摂取はお控えください。



その他注意事項

- ① 外泊中の患者様・ご家族様に体調不良を認めた場合は、入院されている病棟へご連絡ください。(緊急を要する場合は救急車をお呼びください)
- ② 外出・外泊が認められましたら「外出・外泊届」に必要事項を記載し、ナースステーションへ提出してください。また、着替えもお持ちください。
- ③ お出かけの際は病棟看護師から必ず「外出・外泊許可証」をお受け取り下さい。
- ④ 出院時に外泊中の様子についてのアンケートをお渡しいたしますので、ご記載の上、帰院時に持参していただくようお願いいたします。
- ⑤ 帰院時は病棟看護師へ「外出・外泊許可証」をお渡しく下さい。
- ⑥ やむを得ない事情でお帰りが遅れる場合は、必ず病院へご連絡ください。
- ⑦ 外泊からの帰院後は有症時や状況に応じて医師の判断にて感染症の検査を行うことがあります。ご理解、ご協力をお願いいたします。



多摩丘陵リハビリテーション病院

2024/11/27